ASSETS OF OUR LIVES

≪確かな知識や教養を身につけ・豊かな心を育て・充実した人生を!!≫

2021年03月25日　第35巻05号

ＡＳＳＥＴＳがようやく出ます。中学３年生の高校入試の追い込みの特訓のために数回分が遅れています。申し訳ありません。幸い今年もよい結果が出せましたので一安心しました。これからたまっているＡＳＳＥＴＳの原稿を順次出していきます。少し遅れた記事もありますがご了承ください。今回は２月はじめの最近のニュースからのＡＳＳＥＴＳです。地球温暖化が原因で、ヒマラヤ山脈の氷河が溶けて、インドで大洪水が起こり、多くの人がなくなりました。そしてＴＩＭＥは「毀滅の刃」の筆者を「今年の（世界を代表する）１００人」に選びました。

【上】地球温暖化を警告するＴＩＭＥの記事からです。カラー写真を加工していますが、もともとが泥と雪の写真なので白黒の写真のように見えます。ヒマラヤの氷河が溶けて、インドに大水害が発生したという恐ろしいニュースです。今後、シベリア（＝ロシアのアジアの部分）の永久凍土が溶けて大変なことになっていることも写真で乗せます。

ビートル 新天地は沖縄？

久米島、那覇便に導入検討

JR九州高速船

沖縄県久米島町が定期航路への導入を検討するJR九州高速船のジェットフォイル「ビートル」

町「観光客誘致に期待」

沖縄県久米島町が島と那覇市を結ぶ定期航路にJR九州高速船（福岡市）が保有するジェットフォイルの導入を検討していることが10日、関係者への取材で分かった。町は同社と情報交換を始めており、採算性などを議論する検討委員会を立ち上げる。海を飛ぶカプトムシ「ビートル」の名で博多と韓国・釜山の懸け橋となった船は沖縄で余生を過ごすことになるかもしれない。

久米島は那覇市の西約90キロにあり温暖な気候や豊かな自然が魅力。車エビと海ブドウの生産量は日本一で、年間10万人超の観光客が訪れる。那覇市からは海路と空路があるが、所要時間や運賃の面で課題があり「以前から高速船導入を求める声があった」（町担当者）。ジェットフォイル導入で、空路より安価で所要時間も1時間半とフェリーの半分程度に短縮できる。

同社は昨年、新型高速船「クイーンビートル」1隻を導入したものの、新型コロナウイルスの影響で日韓航路は運休している。再開後は新型船1隻で運航する予定で、ビートル3隻の売却先を探していた。

町担当者は、建造30年を経過したビートルの維持費や採算性、現行のフェリーとの兼ね合いから「選択肢の一つで決定ではない」と説明。その上で、「新たな観光客誘致が期待できる」とする。同社は町から問い合わせがあったことを認め「町側の意向を確認していきたい」としている。

（那覇駐在・高田佳典、古川剛光）

【上】コロナの影響で、日本と韓国を結ぶ水中翼船の「ビートル」が、仕事ができなくて遊んでいます。これをどうにかして活用したいという記事です。実は最近の３月中旬に、福岡県でも「世界歴史遺産沖ノ島を船で鑑賞しましょう」という目的で、最新型のビートルを使ったイベントも実施されています。

次世代の100人に「鬼滅」原作者　米誌タイム

Koyoharu Gotouge

「次世代の100人」に選出された吾峠呼世晴さんを紹介するタイム誌のウエブページ

米誌タイムが17日、世界で最も影響力がある「次世代の100人」を発表し、日本の大ヒットアニメ「鬼滅の刃」の原作者、吾峠呼世晴さんが選ばれた。

タイムは吾峠さんの紹介ページで「約20年にわたり『千と千尋の神隠し』が日本の最高興行収入映画だったが、昨年に鬼滅の刃が、それを塗り替えた」と功績を評した。鬼滅の刃は現在、動画配信サービスでも視聴可能で「作品の視聴は今後も続く」と記した。

吾峠さんは素性を明らかにしていないが、タイムは界作家連載されていた「週刊少年ジャンプ」編集者の話を紹介。作者の性格は、漫画を通じて光り輝いている主人公、竈門炭治郎の真面目な性格、誠実さ、責任感の強さに表れている」とのコメントを載せている。

他には、1月のバイデン米大統領の就任式で自作の詩を朗読した22歳の詩人アマンダ・ゴーマンさんが選ばれた。タイムのウェブページには、選出された若者の顔が並ぶが、吾峠さんに関しては、鬼滅の刃の漫画本の写真が採用された。

【石山絵歩】

【左】ＴＩＭＥが選んだ「今年の世界を代表する１００人」を紹介する新聞記事です。普通は原作者の写真が出るのですが、原作者は自分を表に出していないので、本の表紙が載っています。近いうちにＴＩＭＥのコピーをそのまま載せます。

西日本新聞

これからの校則

2021年2月20日(土) 13時30分～16時30分

福岡県弁護士会館 2階大ホール

事前申込制 オンラインでも傍聴できます

■基調講演 西郷孝彦さん 世田谷区立桜丘中学校 前校長

■基調報告 福岡市立中学校全69校の校則分析報告

中学校の校則考える シンポ

六本松

県弁護士会が20日 元校長の講演や調査報告

中学校の校則の在り方を考えるシンポジウム「これからの校則」（県弁護士会主催）が20日午後1時半から、福岡市中央区六本松の県弁護士会館である＝写真はチラシ。東京都の公立中学校在任中に「校則や制服のない学校」を実現した元校長の西郷孝彦さんが基調講演する。参加無料。

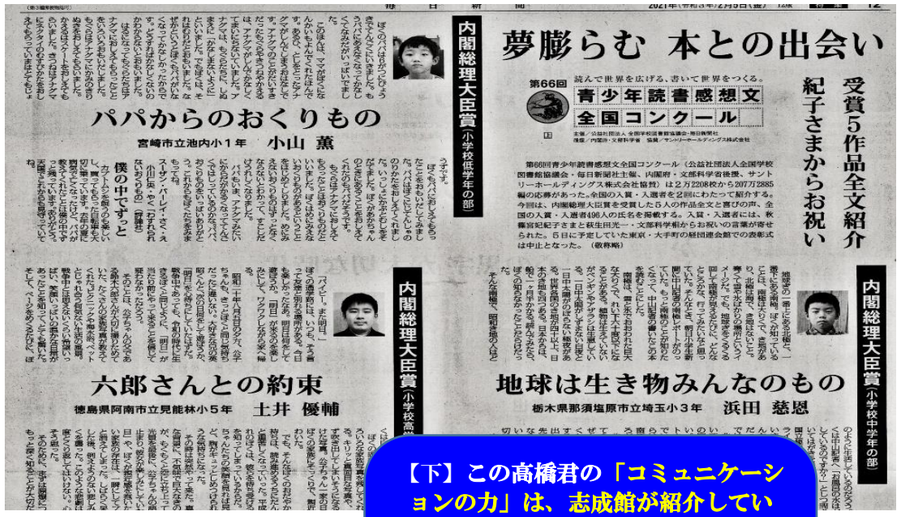
「髪を結ぶ位置は耳より下」「キーホルダーは一つまで（生徒手帳程度の大きさ）」―。校則は生徒の生活指針となる学校内規を指すが、過度に縛り付ける内容は「ブラック校則」と呼ばれ、全国的な見直しの動きが広がっている。

県弁護士会が昨年、福岡市立中の全69校を対象に行った校則調査の報告のほか、不登校生の保護者会会長や大学教授が参加するパネルディスカッションがある。

参加希望者は、10日までに県弁護士会のホームページから申し込む。オンラインでの参加も可。県弁護士会＝092（741）6416。

【右】志成館ではブラック「校則」についてこれまでたくさんの新聞記事や書籍を紹介してきています。今後もこの問題については記事を載せ続けます。大切なことは、「自分たちで現実を知って、自分たちでまじめに議論をしないと、校則が良くなって過ごしやすくて安全で自由な学校にはならない」ということです。言葉を変えるなら、学校でも社会でも「民主主義を育てる必要がある」ということなのです。ちなみに右の弁護士の中には館長の知人もいます。

【下】「読書感想文」やその他の色々な作文や感想文のコンテストがあります。下に最近の入選者を載せた新聞を張り付けました。このＡＳＳＥＴＳでは、入賞者を紹介するのが目的ではありません。「入賞をするコツ」を教えるのが目的なのです。それは「コンテストの主催者が喜ぶような内容の文章をつくればよい」というものです。学術的に、つまり公平な学者たち（＝入賞作品を選べる人たち）が、とても立派な主張であると評価されても、懸賞文の「主催者」の気持ちを損ねる内容がある文章は、絶対に入賞しないということです。今回の場合は「内閣が主催」していますので、現在の内閣の政治に批判的な内容の部分が含まれていると、絶対に「内閣賞」は取れないということです。これこそが現実の大人の世界なのです。わかりましたか？ですから素晴らしい作文ができたと自分では思っていても入賞ができない場合がありますので、決して落胆しないようにしてください。



夢膨らむ 本との出会い

受賞5作品全文紹介

紀子さまからお祝い

第66回 青少年読書感想文全国コンクール

内閣総理大臣賞 小学校低学年の部

パパからのおくりもの

宮崎市立池内小1年　小山 薫

内閣総理大臣賞 小学校中学年の部

六郎さんとの約束

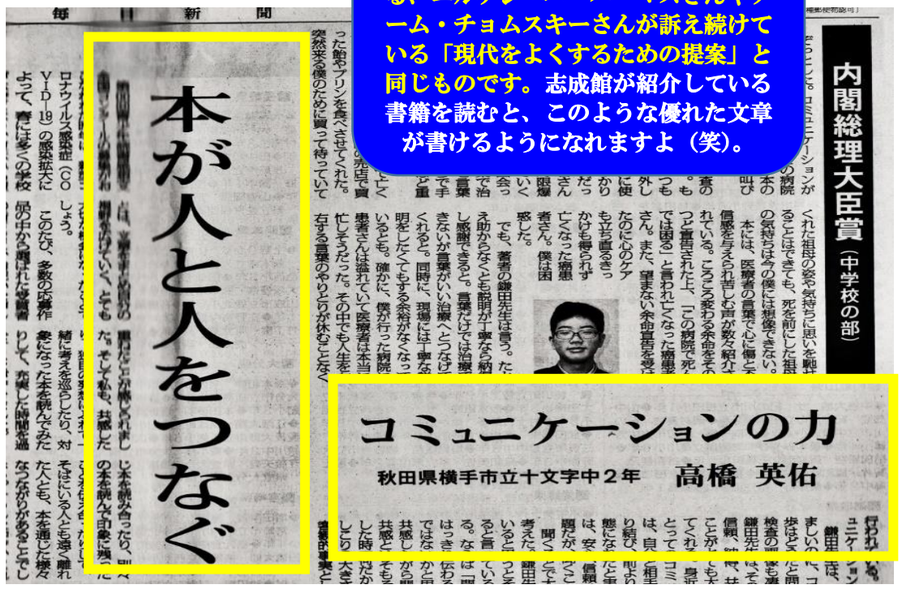
徳島県阿南市立見能林小5年　土井 優輔

内閣総理大臣賞 小学校高学年の部

地球は生き物みんなのもの

栃木県那須塩原市立埼玉小3年　浜田 慈恩

【下】この高橋君の「コミュニケーションの力」は、志成館が紹介している、ユルゲン・ハーバーマスさんやノーム・チョムスキーさんが訴え続けている「現代をよくするための提案」と同じものです。志成館が紹介している書籍を読むと、このような優れた文章が書けるようになれますよ（笑）。



毎日新聞

内閣総理大臣賞（中学校の部）

本が人と人をつなぐ

コミュニケーションの力

秋田県横手市立十文字中２年　高橋 英佑

【下】今回の森喜朗オリンピック会長の女性差別の発言は、実は男社会の日本ではいつも見られる発言なのです。それが続いているのは、「日本社会が、悪いものを悪いという批判をしないからだ」という記事です。強い力を持つ人たち＝権力者を批判すると仕返しをされますので簡単ではありませんよね。「勇気」が必要なのですが、日本人は勇気を持った人たちや誇りある人たちが評価されないという「未熟な国家」なのですから、自由で民主的な国家に変える必要があるのです。

森会長 午後辞意表明

見て見ぬふり 傷広げた

日本の組織 弱さ露呈

広報コンサルタント 石川慶子さん指摘

いしかわ・けいこ
東京都出身。1995年からPR会社勤務。2001年に独立し、危機管理を専門とする広報プロフェッショナルとして活動。企業、団体に対し、平時、緊急時の戦略的広報の立案やメディアトレーニングを行う。日本リスクマネジャー＆コンサルタント協会副理事長。

「五輪さらに危う！

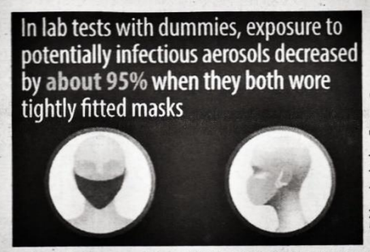
【下】「二重マスク」は効果があるそうです。いったんＣＯＶＩＤ－１９にかかると「神経障害が永遠に残る」ともいわれています。自分を守るために「二重の」そして「ＦＦＰ２」の条件を満たしたマスクを勇気をもって使いませんか？「他者の目や批判を気にすることない勇気」をもって。

米、二重マスク推奨 飛沫抑止95％以上

米疾病対策センター（CDC）は10日、新型コロナウイルス変異株の拡大を受け、感染予防ガイドラインを更新した。医療用の不織布マスクの上に布製マスクを着用する「二重マスク」が初めて推奨の一つに加わった。「自身の感染と相手にうつすリスクを大幅に低減できる」としている。

米国ではマスク着用を奨励するバイデン大統領ら政権幹部が二重マスクを実践。ファッションとして取り入れる市民も増えている。

CDCは実験の結果、医療用や布マスク単体の着用で飛沫の付着が42～44％防げたのに対し、二重の場合は95％以上の抑止効果があったと説明した。ただ、マスク単体でも鼻の部分にワイヤーが入っているものを使い、ひもに結び目を作りすき間をなくすことで、単体でも同様の効果が上げられるとも説明している。【ワシントン高本耕太】



二重マスクが加わったガイドライン＝CDCウェブサイトから

新型コロナウイルス感染者が多い国・地域

※日本時間12日現在。米ジョンズ・ホプキンズ大の集計から

	感染者（人）	死者（人）
世界	1億0780万2327	236万8807
米国	2739万0550	47万5291
インド	1088万0603	15万5447
ブラジル	971万3909	23万6201
英国	401万0376	11万5748
ロシア	398万3031	7万7415
フランス	346万5964	8万0951
スペイン	304万1454	6万4217
イタリア	268万3403	9万2729
トルコ	256万4427	2万7187

ミニ論点

東京オリンピックの開幕まで半年を切った今、森会長の辞意を識者はどう受け止めたか。社会学者の古市憲寿氏(36)と女子マラソン五輪メダリストの有森裕子氏(54)に聞いた。

社会の構造 変えよう

社会学者 古市 憲寿氏

平等や多様性を重視するイベントのトップという点では、森さんは辞めた方が五輪のためになる。ただし個人を批判して辞任という形で終わらせるのは、根本的な解決にはならない。

これは構造的な問題。これまでの日本は、「おじさん」中心に最適化された社会で、子育てしながら働く女性や男性は排除される構造だった。今回の問題を批判している新聞社やテレビ局には女性役員が何割いるのか。政治家や企業の役員など指導的な立場に男女が半々、少なくともどちらかが4割というところから変えていかなければ、今回のような発言は繰り返される。社会の仕組み自体を変えなければいけない。

森さんを見て、考えさせられたこともあった。正義や常識というものは、時代によって変わるもの。男女平等に関しては100％賛成だが、これから30年、40年後に、自分が受け入れがたい価値観が社会の主流派になるかもしれない。その時に、自分がどう振る舞い、どう時代と折り合いをつけるのだろうかと。

五輪には賛成でも反対でもない。興味も無いし参加もしない。やりたい人がいるならやればいいと思うが、開催して何が残るのか。

「やることが決まっていたからやらなければいけない」ではなく、五輪をやることで日本に住む人、納税者にどんなメリットがあるのか、もう一度トップの口からきちんと示してもらわなければ、納得できない人は多い。

【聞き手・円谷美晶】

【上】テレビでよく見かける古市憲寿さんの「社会の構造を変えよう」という記事です。女性差別や外国人差別をなくし、男中心の社会を変える必要があるのです。

【下】ここ３０年間の社会の構造や考えが悪化したのは。アメリカのレーガン大統領、イギリスのサッチャー首相、日本の中曽根首相や小泉首相たちが行った「新自由主義的な思想＝簡単に言えば自分や自分の国が良くなれば他者や外国の人たちが貧困になってもかまわないし、自然環境の破壊などかまっておれない」という政策による悲惨な結果なのです。志成館の館長は、ずーっと前から「新自由主義的な発想が人類を滅ぼす」と考え、これまでの政治の流れに批判的だったのですが、最近は、アメリカの若い世代が、館長と同じ考えを持つようになってきていますので、この人たちの今後の活躍に期待をしています。もちろん日本人のあなた達これからの若い世代に対する期待もとっても大きいのですが、しかし日本の若者たちはとても保守的であり（つまり今のままの日本でよいという考えの人たち）がとっても多くて、あまり期待が持てないようです。（泣）。「もはや日本は先進国ではない」と言われているにもかかわらず、若者たちはスポーツやゲームにおぼれ、社会の利便性におぼれて「安逸をむさぼっている」のだそうです。日本の将来はとっても危ういのです！！日本の現実やあなた達の将来をしっかりと考えましょう。

余録

「貧しい者はさらに貧しく、富める者はさらに裕福になった。アメリカは多くの人種集団、地域集団に分かれてしまった」。トランプ政権で分断された社会ではない。米国人記者が描いたレーガン政権下の姿だ▲今からちょうど40年前の1981年2月、レーガン大統領は大型減税と規制緩和を柱とする経済再建策を発表した。国民に自助を促す「小さな政府」の推進、いわゆるレーガノミクスだ。不況からは脱したが、恩恵は富裕層に集中した。増えた雇用も、大半は黒人などの低賃金労働だった▲レーガンは問題をさして気に留めなかったようだ。「サミットで米国の奇跡と呼ばれ、各国が導入した」と誇らしげに回顧録につづっている。減税で国の借金が急増したが、「負債も成長して一人前になったもんだね」とジョークでけむに巻いた▲コロナ禍で日本も多くの非正規労働者が職を失った。一方、景気とかけ離れた株高で富裕層は一段と豊かになった。

レーガノミクスから始まった新自由主義の結果だ。格差が上と下にさらに広がる「K字形経済」と言われるのも、レーガン時代そっくりだ▲コロナ下の政治に求められるのは、この40年を問い直し、経済のあり方を変えることだろう。バイデン米大統領も富裕層への増税などで格差是正を図ると表明している▲だが言義偉首相は「自助ありき」の姿勢を崩さない。生活に窮しても使いにくい仕組みなのに、こともなげに「生活保護がある」と語ったのは、出来の悪いジョークに違いない。

2021・2・12

NHKまた全開示答申

審議委「議事録要約は改ざん」

森下俊三委員長

【左】税金（の様なもの）で運営されているＮＨＫ＝日本放送協会、これは「国民の一人一人を守るため」に公正公平な放送を目指しているはずなのですが、ここ８年くらいのＮＨＫはごまかしや隠蔽そして政府や強い企業を応援するばかりの偏った報道が続いているという記事です。これでは日本人が賢くなれるはずがありませんよね。（泣）。

現代が学べる **志 成 館**